

愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次 代

第132号 2011.10



第42回 愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者のみなさん

CONTENTS

表紙 第42回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者……………	1
私の意見 — 「教えてもらう」立場から「教える」立場に……………	2
新会員団体活動紹介 NPO法人なでしこの会……………	3
平成23年度少年の主張愛知県大会の開催……………	4
最優秀賞作品紹介 「何を理由に職業を選びますか」……………	5
第42回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者名簿……………	6
愛知県青少年育成県民会議総会で講演会の開催……………	6
青少年の適正なインターネット利用に関する説明会、愛知青少年サポートパトロール隊出発式 ……	7
青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（冬期）……………	7
青少年によい本をすすめる県民運動 読書感想文募集案内……………	8
子ども・若者育成支援県民運動強調月間……………	8
編集後記……………	8



— 青少年の心を育てるキャンペーン —

私の意見 — 「教えてもらう」立場から「教える」立場に



土井 太起 (春日井市青少年リーダークラブ)

私たち春日井市青少年リーダークラブは、子ども会のためのボランティアです。小学生～高校生はジュニアリーダーとして活動し、大学生以上はシニアリーダーとしてサポートをしています。子どもたちにとっては、地域のお兄さん・お姉さんとして歓送迎会やキャンプ、クリスマス会などで楽しいゲーム遊びを指導しています。また、育成者にとっては、子どもたちのよい理解者として、子ども目線の活動を実践してくれる助っ人として期待されています。

私は、この活動を小学5年生から続けており、今ではシニアリーダーとして内部研修を任されています。また「ジュニアリーダー」という名称で同様のボランティアは全国にあり、交流会を通してたくさんの仲間たちと出会うことができます。

■ 子どもと大人をつなぐ ■

私たちは、土日を中心に子ども会の育成者（地域のお年寄りや、子どもたちの父母）の依頼を受けて、子ども会活動に出向きます。そこで、子どもたちの年齢や、行事の内容に合わせてゲームの順番を組み立てて遊びます。また、大人ではないので、子どもたちとお互いに友だち言葉で話をしたり、マンガやゲームの話で盛り上がりたりもします。一方、整列をする場面では、率先して動き、子どもたちの手本となって、子どもたちの整列をうながします。このように、大人の指示を子どもにスムーズに伝えたり、逆に子どもの意見を大人に伝える架け橋となる存在となっています。



野外炊事

■ リーダーとしての自覚と責任 ■

ジュニアリーダー活動は、普段「教えてもらう」立場である小中高生が、「教える」立場になる活動です。はじめはみんな戸惑いますが、徐々に人前で話すことに慣れていきます。先生と呼ばれるほどではないですが、子どもたちをまとめる指導者としての自覚が生まれます。大人の指導者がいる部活動や習い事ではなかなか体験できないことだと思います。また、どう言ったら伝わるか、楽しむためにどんな工夫をしようかと、相手のことを考えながら悩むことも活動の醍醐味のひとつです。ときには何十人もの子どもたちに指示を出すので、自分の言動に強い責任感を感じます。しかし、悩んだ分だけうまくいったときや「楽しかったよ!」と子どもたちが言ってくれたときは、大きな達成感とやりがいを感じます。

先頭に立って、誰かのために役立つことが出来たという経験は、自信にもつながります。先日、恥ずかしがり屋だった女の子が、活動を通して、自分の意見もはっきり言えるほど活発になり、中学校で生徒会役員に立候補したという、うれしい知らせがありました。



整 列



手遊び



飴食い（左が土井さん）

新会員団体の活動を紹介します。

NPO法人 なでしこの会（全国引きこもりKHJ親の会・東海）

理事長 伊藤 進

ひきこもりの家族と当事者を支援する会

2001年8月、発足

なでしこの会は、2001年8月26日、全国引きこもりKHJ親の会の東海支部として発足しました。2004年にNPO法人の認定を受け、現在、120家族が加入しています。

活動内容（月例会・居場所・訪問サポート・相談など）

毎月第三日曜日、名古屋で月例会を開催。大学教授・専門家の講演会や家族同士の情報交換・体験談・話し合いの実施。

居場所は、3ヵ所（知多郡阿久比町、名古屋市熱田区、一宮市）で行っています。名古屋市熱田区のFSN（フレンド・シップ・なでしこ）では火曜日～土曜日の10時～19時、若者企画、パソコン教室、親のグループワーク、相談支援などを行っています。知多郡阿久比町、一宮市では毎月、親子の合同居場所や相談などを行っています。

この他、専門の教育を受けた支援者が各家庭を訪問して、家族や当事者の支援を行っています。

こうした活動を通じて親が明るく元気になり、家族機能が回復し、当事者の社会参加が生まれています。

日本福祉大学との合同企画を開催

2003年4月から毎年、なでしこの会と日本福祉大学との連携によるひきこもりの支援での共同企画・シンポジウムを開催、毎回130人から150人の参加を得ています。今年の3月から知多社協に新たに加わって戴き、より一層内容を充実してきました。

このシンポジウムでの成果は、この地方の家族や当事者へ希望を与えただけでなく、支援者へは理論的・実践的な参考になり、「子ども・若者育成支援法」に反映されたり、「引きこもり支援論」などの著書が出版され全国的にも注目されています。



講演とシンポ（日福大名古屋キャンパス）

アイメンタルスクール事件で知事に10項目の要請に満額回答

2006年4月、アイメンタルスクール事件が名古屋で起き、なでしこの会は2006年5月、愛知県知事に10項目の公的支援を求める要請を提出。2007年2月の愛知県定例議会で知事は「自殺・ひきこもり対策は待ったなし」として会の10項目に満額回答、2007年4月「こころの健康推進室」を新設し、「愛知県ひきこもり対策検討会議」の設置など、愛知県のひきこもり支援が強化されました。

署名活動、新法成立、2010年4月施行

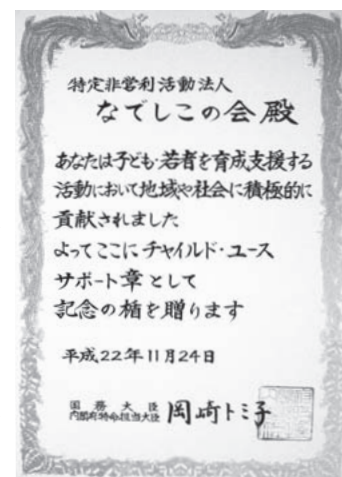
会は月例会（8年2月）で「究極のセーフティーネット」を求めて徹底討論、それをまとめ国への公的支援を求める署名活動を全国の仲間と取り組んでいます。

内閣府の「チャイルド・ユースサポート章」受章

なでしこの会は、2010年11月24日、内閣府から「ひきこもりの家族と当事者支援のため、毎月の月例会、訪問サポート活動、若者の就労支援等を行っている」として「チャイルド・ユースサポート章」を受章しました。

2011年4月、愛知県から新たな補助金

4月から愛知県の「NPO等が行う生活困窮者等支援事業」の補助金で五つの支援（居場所、相談、訪問、社会参加、他機関との連携）活動を始め、新しい活動拠点「フレンドシップなでしこ」をオープンしました。



平成23年度少年の主張愛知県大会が開催されました

愛知県・愛知県教育委員会・瀬戸市・瀬戸市教育委員会・愛知県青少年育成県民会議が主催する「少年の主張愛知県大会」が、8月19日（金）に瀬戸市文化センター文化ホールで開催されました。会場には1,400人の聴衆が集まり、各地区から選ばれた14人の中学生の主張に耳を傾けました。

発表の内容は、家族や友人、進路などを題材として人としての在り方・生き方を問うものや、東日本大震災の報道に心を動かされ、自分にできることを行動に移した体験談など多岐にわたっておりました。いずれの作品からも、社会の一員として積極的に関わっていこうとする強い熱意が伝わり、会場を埋めた聴衆からは盛んな拍手がわき起こりました。各賞の受賞者は右表のとおりですが、最優秀賞を受賞した濱口大生さん（大府市立大府北中学校3年）が、全国大会の出場候補者に推薦されることになりました。

*「共感賞」は同じ中学生が最も共感できる作品を協議して選出します。開催地瀬戸市内の各中学校の代表1名ずつ、計8名の中学生が選考しました。

種 別	題 名	受 賞 者
最優秀賞 (愛知県知事賞)	「何を理由に職業を選びますか」	大府市立大府北中学校 3年 濱口 大生
優秀賞 (愛知県議会議長賞)	「母の日記」	豊田市立小原中学校 3年 小川 紋奈
優秀賞 (瀬戸市長賞)	十人十色	刈谷市立刈谷南中学校 3年 石川 夏綸
優秀賞 (愛知県教育委員会賞)	「諦めないで下さい」	江南市立宮田中学校 3年 河野 晃大
優秀賞 (愛知県青少年育成県民会議会長賞)	ダンスと縄跳びと震災と	一宮市立葉栗中学校 3年 市川 華瑛
奨励賞 (同上)	中学生にもできるボランティア、中学生だからできるボランティア	愛知教育大学附属岡崎中学校 3年 奥田 昇吾
奨励賞 (同上)	「鳥川のホタルを守って」	岡崎市立額田中学校 3年 小野 敏哉
奨励賞 (同上)	夢	瀬戸市立水無瀬中学校 3年 加藤 友佳子
奨励賞 (同上)	生き方を変えたコトバ	蒲郡市立三谷中学校 3年 竹内 絢香
奨励賞 (同上)	十五を生きる	美浜町立河和中学校 3年 竹中 美緒
奨励賞 (同上)	田舎 それとも 都会	新城市立八名中学校 3年 中川 実季
奨励賞 (同上)	地域の森林を守る	豊田市立足助中学校 3年 原田 拓実
奨励賞 (同上)	幸せのしわ	田原市立赤羽根中学校 3年 松田 夏帆
奨励賞 (同上)	等しく生きる社会	蟹江町立蟹江中学校 3年 三澤 夏海
共感賞	「諦めないで下さい」	江南市立宮田中学校 3年 河野 晃大



最優秀賞作品紹介

「何を理由に職業を選びますか」

大府市立大府北中学校 3年 濱口 大生

みなさんは、将来どんな職業に就いて働くか考えたことがありますか。世界中の貧困者の力になりたいから国連の職員、写真とスポーツが好きだからスポーツカメラマン、いろいろな国で戦えるからF1ドライバーなどなど。夢や希望は無限に広がります。何を目指そうか。自分の未来に思いを馳せて、ワクワクしながら、僕はよく考えます。

しかし二年生になり、学校で進路説明会が行われるようになってから、僕は憧れや好きだからという理由だけで、将来の職業を決めてはいけないと思うようになりました。でも、小さい頃からの夢も捨てられない。何を理由に将来の職業を選べばいいのかわからない。そんな悩みがずっと続きました。

そんなある日、職場体験学習が行われることになり、僕は自分の掛かり付けの接骨院で働くことに決めました。いつも自分が治療してもらっているの、仕事の内容は分かっているつもりでした。でも、僕が知っていたのは、患者の立場から見えているわずかな部分だけでした。実際は、患者さんから見えていないところにたくさんの仕事がありました。

僕が手伝わせてもらったのは、院内外の掃除や治療用の包帯やテーピングの準備や整理です。それは患者さんを迎えるための準備のほんの一部。僕は、仕事というものは人から見えない部分がほとんどだと知りました。

僕が、今回の職場体験で一番印象深かったことは、先生が治療中に患者さんに合わせて話題を変えて話すことです。スポーツ専科の接骨院なので、先生がスポーツ以外の話をするなんて思いもしませんでした。先生はいつもサッカーの話をしながら僕を治療してくれます。ところが、父ぐらいの年の人とは政治や経済の話、年配の女の人とは日常生活の話をしていました。話し方も学生には親しげに、大人にはきっちり敬語で話します。

怪我を治療する技術だけでは整体師になれないと感じました。どんな職業でも同じで、才能や能力だけでは人に認めてもらえないのかもしれないかもしれません。働くということは、気配りやマナーや常識など、人とつながるための約束事があって成り立つものだと知りました。

僕は先生に、どうして整体師になったのか聞いてみました。先生は、高校生のときに怪我でサッカーを続けることができなくなったそうです。選手は無理でもサッカーにつながる仕事がしたいと考えた時に、整体師しか浮かばなかったと話してくれました。僕もサッカーをしているので、怪我でサッカーを諦めなければならなかった先生が、どんなに悔しくて悲しかったか想像できます。先生の話聞いて、働くということは単にお金を稼ぐことだけでなく、生きる目標や生きがいにもなることを知りました。

僕は今まで職業について考える時に、その主な内容や直接必要な能力しか見ていませんでした。一つの仕事を成功させるために、表から見えないたくさんの仕事があること、関係がないと思っていた知識やマナーも必要なのだということに、気づいていませんでした。憧れの、なりたい職業に必要な能力を身につける事はとても大変そうですが、それにも増して、その職業についてから人に認められ、仕事を続けていくことはずっと大変そうです。

それでも、先生が大好きなサッカーにつながっている仕事を選んだように、僕も、好きなことにつながっている職業を選びたい。なぜなら、働くことがどんなに大変でも、自分の仕事を好きだと思え続けられれば、努力も続けられると思うからです。今を大切にして、いろいろな事に挑戦して、自分の好きなことや能力を増やしていきたい。たくさんの人と会って、話をして、社会とつながった人になろうと思います。

みなさん、大人になった自分はどんな仕事をしていますか。それは、小さな頃から夢に思い描いてきたものですか。夢はかなえたい。選んだその仕事を続けていける能力や社会性を自分が身につければ、憧れや好きだからという理由で将来の職業を決めてもいいと思いませんか。僕はいいと思います。



第42回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者名簿

日頃の青少年活動及び青少年の育成指導活動の功績が認められ、次の方々が、平成23年5月30日に県民会議の総会で表彰されました。おめでとうございます。今後のより一層のご活動を期待します。

◆ 個人の部（青少年）		
氏 名	住 所	所 属 団 体
土井 太起	春日井市	春日井市青少年リーダークラブ

◆ 個人の部（青少年育成者）		
氏 名	住 所	所 属 団 体
浅田 鉦三	大 府 市	吉田まちづくり協議会
石川 綾子	豊 明 市	(社)ガールスカウト日本連盟 愛知県支部
國枝 邦洋	江 南 市	江南市スポーツ少年団
倉橋 正幸	蒲 郡 市	所属団体なし
小林 信昭	豊 橋 市	所属団体なし
峠 テル子	春日井市	愛知県青少年育成アドバイザー 連絡協議会
中川 茂	豊 橋 市	大崎文化保存会・しおかぜ太鼓
中村 里美	豊 山 町	愛知県子ども会連絡協議会
中村 大輔	名古屋市	中日子ども会
藤江 克美	春日井市	日本ボーイスカウト愛知連盟 春日井第2団
三井 信之	名古屋市	日本ボーイスカウト愛知連盟

◆ 団体の部（青少年団体）	
団 体 名	所 在 地
愛西市4Hクラブ	愛 西 市
愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部	名古屋市
(社)ガールスカウト日本連盟愛知県第66団	瀬 戸 市
大成中学・高等学校管弦楽部	一 宮 市
豊橋市青年団協議会	豊 橋 市
名古屋文理大学サイエンスサークル	稲 沢 市
日本ボーイスカウト愛知連盟安城第3団	安 城 市
日本ボーイスカウト愛知連盟東浦第1団	東 浦 町

◆ 団体の部（青少年育成団体）	
団 体 名	所 在 地
豊田少年補導委員会	豊 田 市
名古屋市立滝ノ水小学校PTA	名古屋市
名古屋南モラロジー事務所青年クラブ	名古屋市

愛知県青少年育成県民会議総会で講演会が開催されました。

青少年育成県民会議の総会の中で表彰式の後、講演会が開催されました。この講演会は総会出席者と表彰受賞者も受講し、熱心に講師の話に耳を傾けていました。

講 師 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
速 水 敏 彦 教授
テーマ 「萎縮しながら膨張する若者の心
－真の自己効力感を求めて－」



青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏期）に、「青少年の適正なインターネット利用に関する説明会」や「愛知青少年サポートパトロール隊出発式」などを実施しました。

本県では、夏休み期間中を含めた7月と8月を「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏期）」強調期間と定め、青少年の非行・被害防止のための各種の運動を集中的に実施しています。

この運動の一環として、学校関係者・警察関係者・行政関係者・少年センター・青少年団体・女性団体・携帯電話会社の関係者など約100名により、次の活動を実施しました。

<日時> 平成23年7月20日（水）

時 間	行 事 名	場 所
14：00 ～ 15：15	青少年の適正なインターネット利用に関する説明会 ○ケータイ安全教室【(株)NTTドコモ東海支社】 ○スマートフォンについて【ソフトバンクモバイル(株)】 ○フィルタリング100%に向けた携帯電話会社の取り組み【KDDI(株)】	名古屋市教育館 2階講堂
15：30 ～ 15：50	愛知青少年サポートパトロール隊（あいち声かけ隊）出発式 ○県民運動のスローガン唱和 【スローガン】◆非行の芽 はやめにつもう みな我が子◆	名古屋市教育館 2階講堂
15：50 ～ 16：20	非行・被害防止キャンペーン 非行・被害防止パトロール	栄駅周辺 栄駅、名古屋駅、金山駅周辺

※ 8月3日（水）にも同様の非行・被害防止パトロールを実施しました。



青少年育成県民運動 ◇今後の取組◇

青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（冬期）

青少年が解放感等から有害環境に接することが多くなる冬休み期間中に、家庭・学校・地域社会が力を合わせて、青少年の非行や犯罪被害を未然に防止するため、県民運動を展開します。

- ★ スローガン 「 非行の芽 はやめにつもう みな我が子 」
- ★ 強調期間 平成23年12月20日（火）～平成24年1月10日（火）
- ★ 内 容 広報啓発活動、非行・被害防止キャンペーン等

「青少年によい本をすすめる県民運動」読書感想文を募集中です。

平成23年10月1日から1ヶ月間、「育てよう 豊かな心 読書から」のスローガンのもとに、愛知県と愛知県青少年育成県民会議の主催により「青少年によい本をすすめる県民運動」強調月間を展開します。この運動では、はがきによる読書感想文を募集し、選考の上、愛知県書店商業組合から児童図書または全国共通図書カードが贈られます。運動期間中に次のすすめる本を読み、ふるって応募してください。

- 応募方法 はがき（または同じ大きさの紙）の裏に本の題名と感想を書き、応募してください。なお、表面には住所・氏名のほか学校名・学年（又は職業・年齢）をお書きください。
- 応募先 〒460-8501（住所不要）愛知県庁内
愛知県青少年育成県民会議事務局
「読書感想文」係
- 締 切 11月4日（金）（必着）

読書感想文募集図書一覧

作 品 名	著者名・訳者名	出版社	価 格
-------	---------	-----	-----

幼児向

クリストファーのしあわせないちにち	バレリー・ゴルパチョフ	偕成社	¥1,470
むしのかお	新開 孝	ポプラ社	¥1,260
わすれられないおくりもの	スーザン・パーレイ	評論社	¥1,260

小学校低学年向

続・しごとば	鈴木 のりたけ	ブロンズ新社	¥1,785
ひよこのアーサーがきえた!	ナサニエル・ベンチリー	文化出版局	¥998
くまのこうちょうせんせい	こんの ひとみ	金の星社	¥1,260

小学校中学年向

ゆかいな農場	マルセル・エーメ	福音館書店	¥1,680
カクレマノミは大きいほうがお母さん	鈴木 克美	あかね書房	¥1,470
グレッグのダメ日記	ジェフ・キニー	ポプラ社	¥1,260

小学校高学年向

ほこりまみれの兄弟	ローズマリー・サトクリフ	評論社	¥1,785
犬たちをおくる日ーこの命、灰になるために生まれてきたんじゃないー	今西 乃子	金の星社	¥1,365
ちょっとした奇跡ー晴れた日は図書館に行こう(2)ー	緑川 聖司	小峰書店	¥1,575

中学生・高校生向

ティームル国のゾウ使い	ジェラルディン・マコックラン	小学館	¥1,470
わたしは、わたし	ジャクリーン・ウッドソン	鈴木出版	¥1,470

青年向

おおきな木	シェル・シルヴァスタイン	あすなろ書房	¥1,260
桐島、部活やめるってよ	朝井 リョウ	集英社	¥1,260

11月は子ども・若者育成支援県民運動の強調月間です。

新たな社会を担う子ども・若者が社会とのかかわりを自覚しつつ、社会的に自立した個人として成長することは県民すべての願いです。この機会に、子ども・若者たちを取り巻く環境を、大人自身がもう一度見直すとともに、多様な人々との交流や、さまざまな社会活動を体験できるような環境づくりを進めましょう。

★スローガン 「育てよう 自分に勝てる子 負けない子」

★内 容 主要駅における一斉啓発、リーフレット・啓発資材の配布、パトロール

編集後記

5月30日、県民会議総会で「第42回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰」の表彰式が行われました。表紙の写真は、受賞された個人・団体のみなさんです。個人の部（青少年）で受賞された春日井市の土井太起さんには、「私の意見」のページを執筆していただきました。日々の活動の中で、責任とともに大きなやりがいも感じられているとのこと。他の受章者のみなさんも同様のことと思います。みなさんのますますのご活躍を期待いたします。